

関西サッカー協会
公式記録

会場責任者	主審サイン
湯浅 新太郎	柳村 彩乃

大会名	第25回関西高等学校女子サッカー選手権大会 兼 第25回全日本高等学校女子サッカー選手権大会関西大会	決勝戦	⑧	試合番号	平成28年11月20日 (日)	競技時間	80分	記録者	太田耕治 向出江太郎 山本雄貴
会場	京都府立山城総合運動公園 太陽が丘球技場B	天候	晴 曇 雨	強弱	良好 不良 泥沼	主審	柳村 彩乃 氏	副審	A1 山本 真緒 氏 A2 浅井 正満 氏

【チーム名】	大商学園 高等学校	kick off	0	前半	1	【チーム名】	日ノ本学園 高等学校	kick off
先	0	後半	1	2	先			

交代選手	58分	1	前川 望愛	14	FW	FW	10	目原 莉奈	3
------	-----	---	-------	----	----	----	----	-------	---

交代時間	延長後半	延長前半	後半	前半	学年	選手名	背番号	位置	背番号	選手名	学年	前半	後半	延長前半	延長後半	交代時間	
分					3	西村 清花	1	GK	GK	12	平能 彩佳	3					分
分					3	市政 芽美	2	DF	DF	2	金平 莉紗	2	1				分
分					3	永島 南	3	DF	DF	3	松永 未衣奈	2					分
分					2	林 かおる	4	DF	DF	5	牛島 理子	2					分
分					3	常田 菜那	7	DF	DF	30	塚本 奈緒	2		1			分
HT 分				1	3	岸本 利伊菜	18	DF	MF	6	伊藤 美玖	2		1			分
分				2	2	林 みのり	6	MF	MF	7	平塚 万貴	3		2			分
分					3	常田 麻友	11	MF	MF	11	宮本 華乃	2	1	*	1		78分
64分					1	林 涼香	8	FW	MF	14	吉間 かれん	2		1	*		76分
分					3	久保田 晴香	10	FW	MF	24	田尻 沙妃	1					58分

交代選手	番	分	氏名	番	分	氏名	番	分	氏名	番	分	氏名	番	分	氏名	番	分
番	分			3	田中 飛鳥	12	GK	GK	1	米澤 萌香	2						分
14番	分			3	下田 晴加	13	DF	DF	4	平田 ひなの	1						分
番	分			2	西垣内 由唯	24	DF	DF	18	櫻田 彩乃	3						14番
15番	分			1	日野 くるみ	30	DF	MF	8	田中 美和	3						24番
18番	76分			1	的場 望杏	15	MF	MF	17	高橋 雛	1						番
番	分			2	藤原 安佑	17	MF	MF	21	山本 琴永	2						番
8番	分			3	井上 理子	22	MF	MF	22	浪田 恵莉	3						11番

小計	0	0	0	3	小計	3	合計	シュート数	合計	10	小計	2	8	0	0					
警・退	時間	番	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	警・退	時間	番	氏名	事由
	分				5			4	1	G K	2	2			4		分			
	分				1			0	1	C K	1	1			2		分			
	分				5			3	2	直接 FK	2	4			6		分			
	分				1			1	0	間接 FK	1	0			1		分			
	分				0			0	0	P K	0	0			0		分			

得点	時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過
	37分	日ノ本学園	宮本 華乃	吉間 かれん	中1⑩→左1⑭→中1⑩~S
	66分	日ノ本学園	吉間 かれん	田中 美和	中2⑧→中1⑭S
	分				
	分				
	分				
	分				
	分				

(略号例) ~ :ドリブル → :ゴロのパス ∩ :浮球のパス H :ヘディング HS :ヘディングシュート X :混戦 S :シュート

戦評者氏名 (井 尻 真 文) 勤務先又は所属 (皇 翔 高 等 学 校)

両チーム4-4-2のシステムで試合が開始される。立ち上がりから両チーム共に守備をコンパクトに行い、ボールを奪うと幅・深さ・高さを取り、攻守を一体化させる。大商学園はFW⑩久保田を起点に3人目の攻撃で意図的にゴールを目指す。対する日ノ本学園はボランチの⑦平塚、⑥伊藤を中心にボールを動かしてサイドを起点にFW⑩目原のアクションから攻撃の糸口を掴もうとする。両チーム、コンパクトな守備とコレクティブな攻守を展開するが、中々ゴールへ迫ることが出来ない時間帯が続く。ゲームが動いたのは前半途中からポジションを変更したFW⑩宮本が左サイドでのドリブルから右足を振り抜き先制点を奪う。前半戦を1-0で日ノ本学園のリードで折り返す。後半戦に入っても両チーム3ラインをコンパクトに保ち、守備時の2度追いからプレスバックを献身的に行い、攻撃の糸口を見出すことが出来ない。時間が経つにつれて、徐々に日ノ本学園がMF⑦平塚、MF⑥伊藤を中心にボールを支配し始める。迎えた76分にはMF⑥田中のスルーパスをMF⑭吉間がダイアゴナルに中央へ走り込み、絶妙なワンタッチシュートで追加点を挙げる。対する大商学園は選手交代で攻撃の糸口を掴もうとするが、日ノ本学園の強固な守備を崩せずに2-0で日ノ本学園が優勝を決めた。攻守の切り替えが早く、決勝戦にふさわしいゲームであった。全国大会での両チームの活躍を期待したい。